

2019 年度(令和元年) 実習指導者講習会

(240 時間)

特定分野(72 時間)

開催案内・募集要項

期間

令和元年 7 月 25 日(木)～10 月 16 日(水)

2019 年度教育計画(P35.36 掲載)を一部修正しています。本募集要項にてご応募ください。

要項・様式の download https://www.nara-kango.or.jp/edu_dl.php



公益社団法人奈良県看護協会

2019 年度(令和元年) 実習指導者講習会 (特定分野共通) 実施要項

医療の高度化・専門化が進む医療現場における看護師の役割拡大に対応するため、看護職員の資質向上を図るための研修を実施することにより、質の高い看護職員の育成を図る。本講習会は、奈良県事業「看護職員資質向上推進事業 実習指導者講習会事業」により、奈良県看護協会が事業受託し、実施します。

講習会目的

看護教育における実習の意義および実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得する。

【保健師助産師看護師実習指導者講習会】

「保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に基づき、(表 1)時間数で実施します。

【特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会】

「保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に基づき、(表 2)の時間・内容を調整し、特定分野 (※基準：39 時間以上) においては、240 時間講習会の合同開催として(表 2)の奈良県実施時間 72 時間にて実施します。

(表 1) 保健師助産師看護師実習指導者講習会 講習科目・時間数

| 区分 | 科目 | 時間数 | 時間数 |
|--------------------|-----------------------|-----|-----|
| 教育及び看護に関する科目 | 教育原理 | 6 | 108 |
| | 教育心理 | 18 | |
| | 教育方法 | 30 | |
| | 教育評価 | 6 | |
| | 看護論 | 18 | |
| | 看護教育課程 | 30 | |
| 実習指導に関する科目 | 実習指導の原理 | 15 | 90 |
| | 実習指導の評価 | 15 | |
| | 実習指導の実際 | 60 | |
| 看護師 2 年課程通信制に関する科目 | 看護師 2 年課程通信制の教育制度 | 3 | 21 |
| | 学生の到達度の理解 | 6 | |
| | 実習指導の方法と留意点 | 12 | |
| その他 | 実習指導者の養成に必要なと思われる教育内容 | 21 | 21 |
| 合 計 | | | 240 |

(表 2) 特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会 講習科目・時間数

| 区分 | 科目 | 厚労省 基準時間 | 奈良県 実施時間 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|
| 教育及び看護に関する科目 | 教育原理・教育心理 | 3 | 33 |
| | 教育方法・教育評価 | 3 | |
| | 看護教育課程 | 3 | |
| 実習指導に関する科目 | 実習指導の原理 | 3 | 39 |
| | 実習指導の実際Ⅰ (講義) | 3 | |
| | 実習指導の実際Ⅱ (演習) | 24 | |
| 合 計 | | ※39 | 72 |

特定分野における講習会目的および受講対象(対象施設)について

病院以外の実習施設で次に掲げる分野 (以下「特定分野」という) について実習指導の任にある者 (以下「実習指導者」という) 又は将来これらの施設で実習指導者となる予定の者が、実習の意義及び実習指導者としての役割を理解するとともに、特定分野の実習における効果的な指導のために必要な知識・技術を修得することを目的とする。

- ア. 保健師養成所における公衆衛生看護学
- イ. 助産師養成所における助産学
- ウ. 看護師養成所における老年看護学, 小児看護学, 母性看護学及び在宅看護論
- エ. 准看護師養成所における老年看護学及び母子看護

開講分野：ウ (エの実習施設も可)

看護師養成所における老年看護学, 小児看護学, 母性看護学及び在宅看護論実習の受入れ施設

補足：実習指導者講習会（特定分野）の受講対象 病院以外の実習施設とは、
 診療所・助産所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、保健所、
 地域包括支援センター、在宅介護支援センター、社会福祉施設、療養通所介護事業所など

2019 年度(令和元年) 実習指導者講習会 募集要項

| | 実習指導者講習会 240 時間 | 実習指導者講習会（特定分野）72 時間 |
|-------------|--|--|
| 主 催 | 公益社団法人奈良県看護協会（奈良県受託事業） | |
| 場 所 | 奈良県看護研修センター（橿原市四条町 288 - 8） | |
| 内 容 等 | 講習科目(表 1・表 2 参照) および 講義目標・内容 (P3)、講義日程 (P4.P5) 参照 | |
| 定 員 | 70 名 | 20 名 |
| 開催期間 開催日 | 2019 年 7 月 25 日（木）～10 月 16 日（水） 原則、平日 9：30～16：30 | |
| | 下記、3 期分散型 40 日間 1 期：7 月 25 日～8 月 7 日 2 期：8 月 26 日～9 月 13 日 3 期：9 月 25 日～10 月 16 日 | 左記の期間中(11 日および半日 2 回) 7/25(開講日), 10/16(閉講日)および以下 8/6, 8/29, 9/2, 9/11, 9/25, 9/26, 10/2, 10/4, 10/9, 10/15AM, 選択日(半日) |
| | ※緊急事象時(気象・講師急病等)は、期間外の日程・時間に実施する場合があります。 (緊急予備日：9/17～9/24 の平日、8 月・9 月第 4 土曜日、10 月第 2 土曜日) | |
| 受講対象 | (1)保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所又は准看護師養成所の実習施設で、 実習指導者の任にある者または、実習指導者となる予定にある者。(病院以外応募可) (2)下記の各号に該当し、 所属する施設長が推薦する者。 | (1)看護師養成所における老年・小児・母性看護学、在宅看護論実習を行う <u>病院以外</u> の実習施設で、実習指導者の任にある者または、実習指導者となる予定にある者。 (2)下記の各号に該当し、所属する施設長が推薦または、自薦応募する者。 |
| | 1) 保健師、助産師、看護師として 5 年以上業務に従事した者 2) 心身ともに健康で、受講後は実習指導を担当し、施設に貢献できる者 3) 教育姿勢があり、看護に対する自己の考えを表現できる者 4) 専任教員（教官）でない者 | |
| | 2019 年 4 月 1 日時点 5) 原則、満 55 歳以下の者 | 2019 年 4 月 1 日時点 5) 概ね満 55 歳以下の者 |
| 応募期間 | 2019 年 5 月 20 日（月）～ 5 月 31 日（金）13：00 必着 | |
| 応募方法 | ・ 様式 1 に必要事項を記載し、下記の提出先に郵送ください。（P6 様式 1 記載見本参照） 様式 1 はコピー可、奈良県看護協会ホームページからダウンロードもできます。 個人情報等は、受講の資格確認・手続き、結果通知、奈良県報告のために使用します。一部の情報は、個人特定できない形で講師等に必要情報を提供します。応募(記載)することで個人情報に関する同意があるとみなします。 | |
| | 推薦欄は、施設長または看護部代表者が記載してください。 | 施設推薦がない場合、被推薦者が推薦欄に記載してください。 |
| | ・ 宛先記載の返信用封筒（角 2 号）を同封 ください。 返信用封筒については、重量未定のため切手貼付は不要です。 | |
| 提出先 | 〒634 - 0813 橿原市四条町 288 - 8 公益社団法人 奈良県看護協会 「実習指導者講習会」係 | 〒634 - 0813 橿原市四条町 288 - 8 公益社団法人 奈良県看護協会 「実習指導者講習会（特定分野）」係 |
| 参加費 | 43,200 円（税込） | 10,800 円（税込） |
| | 別途費用：必須図書費※、交通費、個人的な複写費(プリントアウト含)、食費・その他 ※必須図書(現在 3 冊)受講決定等にて案内 | ※必須図書(現在 0 冊)受講決定等にて案内 |
| 受講決定 | 以下選考基準により 6 月中旬頃に通知予定 (1) 受講資格を満たしているもの (2) 提出書類に不備がないもの | |
| 修了証書 | 全課程を修了した者には、奈良県知事の修了証書を交付する。 | |
| その他 | 受講課題・受講登録カード（決定通知時に案内） | |

2019 年度(令和元年) 実習指導者講習会 240 時間/72時間 科目及び講義目標・内容・時間

| 区分 | 科目(基準時間) | (講義名) | 時間数 | 特定 | 講義目標・内容(基準より追記あり) | | |
|---------------------|---------------------------|------------------------|-----|---------|---|--|-------------------------|
| 教育および看護に関する科目 | 教育原理(6時間) | 教育原理(合同) | 6 | 6 | 6 | 教育の意義や基礎的な概念について学ぶ 1)教育の意義、目的 2)教育活動の特性 3)その他 | |
| | 教育心理(18時間) | 教育心理(合同) | 6 | 18 | 6 | 人間の発達と教育過程における心理的な特徴について学び、青年期における人間関係の特徴とその時期にある看護学生について理解を深める 1)発達心理 2)青年心理 3)学習過程における心理 4)その他 | |
| | | 青年心理 | 6 | | - | 問題解決の取り組み方と視野拡大の必要性を学ぶ | |
| | | 創造性開発 | 6 | | - | | |
| | 教育方法(30時間) | 教育方法1 | 6 | 30 | 6 | 教育の基本的な方法や技術について理解を深める 1)授業の形態 2)授業の方法 3)教育方法と教材の活用 4)その他 | |
| | | 教育方法2 | 6 | | - | | |
| | | 論理的思考・討議法 | 6 | | - | | |
| | | コーチング | 12 | | - | 効果的なコミュニケーション能力と相互理解・意思疎通を図る方法を実践を交えて学ぶ | |
| | 教育評価(6時間) | 教育評価(合同) | 6 | 6 | 6 | 教育評価の意義と方法について理解する 1)教育評価の目的と特質 2)教育評価の方法と基準 3)その他 | |
| | 看護論(18時間) | 看護の概念・看護倫理 | 6 | 18 | - | 看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げる 1)看護の概念 2)看護の機能と役割 3)その他 | |
| | | 看護論(ナイチンゲール) | 12 | | - | | |
| | 看護教育課程(30時間) | 看護教育課程1(合同) | 3 | 30 | 3 | 看護師等の教育課程について、その概要、看護過程の展開を学び、実習指導につなげる | |
| | | 看護教育課程2 | 3 | | - | | |
| | | 保健師教育課程 | 1.5 | | - | 1)看護教育課程(指定規則、指導要項、手引き等) 2)教育計画とその内容 | |
| | | 助産師教育課程 | 1.5 | | - | 3)実習指導計画(実習指導計画の理解、指導案作成方法) 4)看護過程(事例を含む) 5)その他 | |
| | | 実習指導計画(合同) | 6 | | 6 | | |
| | | 看護過程の実際 | 12 | | - | | |
| 臨床実習の法的義務 | | 3 | - | | 臨床現場に必要な法知識、看護(実習)記録等の基本ルールを習得する | | |
| 制看護師2年課程通信制に関する科目通信 | 看護師2年課程通信制教育制度(3時間) | 看護師2年課程通信制教育 | 3 | 3 | - | 看護師2年課程通信制教育の基本的な考え方及びその特徴について理解する 1)通信制の目的・意義 2)通信制の特徴・考え方・運営の基本 | |
| | 学生の到達度の理解(6時間) | 学生の到達度の理解 | 6 | 6 | - | 1)運営形態別の実習指導の方法、考え方、留意点 2)学生の到達度の把握方法 | |
| | 実習指導の方法と留意点(12時間) | 実習指導の方法と留意点(実習指導の実際に含) | - | (12) | - | 通信制で学ぶ学生の実習指導方法について事例を通じて理解する 1)事例(紙上学生)による実習指導演習 | |
| 実習指導に関する科目 | 実習指導の原理(15時間) | 実習指導の基本(合同)(意義・役割) | 6 | 15 | 6 | 実習指導の基本と実習指導者のあり方等について理解する 1)実習の意義 2)実習指導者の役割 3)その他 | |
| | | 実習指導のあり方 | 6 | | - | | |
| | | 看護制度・動向 | 3 | | - | 看護(医療)に関連する法律や制度の変化を捉え、看護活動範囲の変化や看護の視点を理解する | |
| | 実習指導の評価(15時間) | 実習評価の意義 | 6 | 15 | - | 実習における評価の意義や方法を理解する 1)実習評価の意義 2)実習評価の方法 3)その他 | |
| | | 実習評価の方法 | 6 | | - | | |
| | | カンファレンス | 3 | | - | カンファレンスの意義や方法を理解する | |
| | 実習指導の実際(60時間) | 基礎看護学実習 | 3 | 72(12含) | - | 実習指導の展開について理解を深め、その実際を学ぶ 1)各看護学・看護論実習の目標と展開・評価 その他 | |
| | | 成人看護学実習 | 3 | | - | | |
| | | 精神看護学実習 | 3 | | - | | |
| | | 老年看護学実習(特定) | 3 | | 3 | | 特定分野を受講生は自身の分野を選択して受講する |
| | | 小児看護学実習(特定) | 3 | | - | | |
| | | 母性看護学実習(特定) | 3 | | - | | |
| | | 在宅看護論実習(特定) | 3 | | - | | |
| 看護の統合実習 | | 3 | - | | | | |
| 各看護学指導案作成 | | 45 | 27 | | 実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ 2)実習指導案の作成(課程別・学年別・授業科目別等) 方法:グループ討議・発表(グループ毎に助言講師1名担当) | | |
| 指導案の発表(合同) | 3 | 3 | | | | | |
| その他 | 実習指導者の養成に必要なと思われる教育(21時間) | 看護の基本となるもの | 12 | 21 | - | ヘンダーソンの看護論を多角的に学び、看護観を明確にする | |
| | | 看護のための形態機能学 ※公開 | 6 | | - | 生活行動からみる人体の構造と機能を理解し、実習指導につなげる | |
| | | 講習会ガイダンス等(合同) | 3 | | 3 | | |
| 総時間 | | | 240 | 72 | | | |

(合同)は特定分野と全員で合同研修、(特定)特定分野の各領域で合同になる研修。 ※公開は一般看護職への公開講座

3月末現在

1期: 7/25~8/7、2期: 8/26~9/13、3期: 9/25~10/16

2019年度 実習指導者講習会
(240時間)科目 & 会場の日程表

指導案演習日
通常は3F大研修室 / 演習2Fは研修室1・2を利用

合同研修日
特定分野との合同

| 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | |
|--------|-----------|--------|------------|--------|----------|--------|--------------|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| 1日(月) | 看護論 | 1日(日) | 休 | 1日(火) | 休 | 1日(火) | 実習評価の意義 |
| 2日(火) | 看護論 | 2日(月) | 教育心理 | 2日(水) | 教育心理 | 2日(水) | 看護の統合実習 |
| 3日(水) | 休 | 3日(火) | 看護過程の実際3 | 3日(木) | 看護過程の実際3 | 3日(木) | 実習評価の方法 |
| 4日(木) | 休 | 4日(水) | 実習指導のあり方 | 4日(金) | 実習指導のあり方 | 4日(金) | ★演習 |
| 5日(金) | 論理的思考 | 5日(木) | 討議法 | 5日(土) | 看護形態機能学 | 5日(土) | ★AM 助言者来訪 |
| 6日(土) | 教育方法1 | 6日(金) | 教育方法1 | 6日(日) | 小児看護学実習 | 6日(日) | 休 |
| 7日(日) | 教育方法2 | 7日(土) | 教育方法2 | 7日(月) | 成人看護学実習 | 7日(月) | 休 |
| 8日(月) | | 8日(日) | | 8日(火) | | 8日(火) | 演習 |
| 9日(火) | | 9日(月) | | 9日(水) | | 9日(水) | ★助言者来訪 AMかPM |
| 10日(水) | | 10日(火) | | 10日(木) | | 10日(木) | ★演習 |
| 11日(木) | 山の日 | 11日(水) | 山の日 | 11日(金) | ★実習指導計画 | 11日(金) | 演習 |
| 12日(金) | 振替休日 | 12日(木) | 振替休日 | 12日(土) | 在宅看護論実習 | 12日(土) | 演習(2階) |
| 13日(土) | 休館 | 13日(火) | 休館 | 13日(金) | 創造性開発 | 13日(日) | ★PM 助言者来訪 |
| 14日(日) | 休館 | 14日(水) | 休館 | 14日(土) | 休 | 14日(月) | 休 |
| 15日(月) | 海の日 | 15日(木) | | 15日(日) | 敬老の日 | 15日(火) | 休 |
| 16日(火) | | 16日(金) | | 16日(月) | 敬老の日 | 16日(水) | ★合同発表/開講 |
| 17日(水) | | 17日(土) | | 17日(火) | | 17日(木) | ★PM 助言者来訪 |
| 18日(木) | | 18日(日) | | 18日(水) | | 18日(金) | |
| 19日(金) | | 19日(月) | | 19日(木) | | 19日(土) | |
| 20日(土) | | 20日(火) | | 20日(金) | | 20日(日) | |
| 21日(日) | | 21日(水) | | 21日(土) | | 21日(月) | |
| 22日(月) | | 22日(木) | | 22日(日) | | 22日(火) | |
| 23日(火) | | 23日(金) | | 23日(月) | 秋分の日 | 23日(水) | |
| 24日(水) | | 24日(土) | | 24日(火) | 3期 | 24日(木) | |
| 25日(木) | 開講/ガイダンス | 25日(日) | 看護教育課程1 | 25日(水) | 教育評価 | 25日(金) | |
| 26日(金) | コーチャング | 26日(月) | 青年心理 | 26日(木) | 教育原理 | 26日(土) | |
| 27日(土) | 休 | 27日(火) | 看護の概念/倫理 | 27日(金) | 学生到達の理解 | 27日(日) | |
| 28日(日) | 休 | 28日(水) | カンファレンス | 28日(土) | (※) | 28日(月) | |
| 29日(月) | コーチャング | 29日(木) | 実習指導の基本 | 29日(日) | 休 | 29日(火) | |
| 30日(火) | 看護制度・動向 | 30日(金) | 看護師2年課程(通) | 30日(月) | 基礎看護学実習 | 30日(水) | |
| 31日(水) | 臨床実習の法的義務 | 31日(土) | 看護過程の実際1 | 休 | 休 | 31日(木) | |

助言講師来訪: ★印 9/11 P.M、10/4AM、10/9半日、10/16 P.M

気象事情等により、日程変更の場合があります。

2019 年度(令和元年) 実習指導者講習会 特定分野 72 時間の補足

講習科目・時間・講義目標・内容

| 区分 | 科目 | 厚労省 基準時間 | 目標及び内容(奈良県) | 奈良県の 実施時間 | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------|---|--------------|---|
| 教育 看護 および 関する 科目 | 教育原理 | 3 | 教育の意義や基礎的な概念について学ぶ ○教育の意義、目的、教育活動の特性 | 6 | |
| | 教育心理 | | 人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴 について人間の成長・発達段階に合わせて理解する ○発達心理、学習過程における心理 現代の青年の学習過程における心理、諸問題 | 6 | |
| | 教育方法(1) | 3 | 教育の基本的な方法や技術についての理解を深める ○授業の形態、授業の方法、教育方法と教材の活用 | 6 | |
| | 教育評価 | | 教育評価の意義と方法について理解する ○教育評価の目的と特質 ○教育評価の方法と基準 | 6 | |
| | 看護教育課程(1) | 3 | 看護基礎教育の課程とその概要について理解する ○看護教育課程、教育計画等の概要 | 3 | |
| | (実習指導計画) | | 実習指導計画・指導案作成について理解する ○実習指導計画の理解、指導案作成方法 | 6 | |
| 実 習 指 導 科 目 | 実習指導の原理 (実習指導の基本) | 3 | 実習指導の基本と実習指導のあり方等について理解する ○実習の意義 ○実習指導者の役割 | 6 | |
| | 実習指導の実際Ⅰ 講義 (自身の特定分野領域) | 3 | 実習指導方法の実際を理解する (特定領域：老年・小児・母性看護学、在宅看護論) ○指導計画の立案と指導方法 | 3 | |
| | 実習指導の実際Ⅱ 演習 (指導案作成) | 24 | 実習指導の展開について理解を深め、演習等とおして その実際を学ぶ ○実習指導案の作成 ○実習指導の展開と評価・発表 | 27 | |
| その他 | ガイダンス等※ | - | - | 3 | 3 |
| 時間数 | | 39 | | 72 | |

240時間との合同研修および、実習指導の実際Ⅰは自身の特定分野を1講義受講する

2019 年度 特定分野 72 時間 日程表

2019年度 実習指導者講習会 7/25, 8/6.29, 9/2.11.25.26, 10/2.4.9.15AM.16, および選択科目(8/30PM.9/6AM.9/12AM.PM)半日
 特定分野(72時間)科目別日程表 研修会場 3階 合同研修 240時間コースと合同研修 選択科目(該当者) 2階 研修室1

| 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | |
|--------|----------|---------|---------|--------|-----------------|--------|----------------|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| 1日(月) | | 1日(木) | | 1日(日) | | 1日(火) | ★助言者来訪 1日 |
| 2日(火) | | 2日(金) | | 2日(月) | 教育心理 | 2日(水) | ★2F演習 ★2F演習 |
| 3日(水) | | 3日(土) | | 3日(火) | | 3日(木) | |
| 4日(木) | | 4日(日) | | 4日(水) | | 4日(金) | 2F演習 2F演習 |
| 5日(金) | | 5日(月) | | 5日(木) | | 5日(土) | |
| 6日(土) | | 6日(火) | 教育方法1 | 6日(金) | 小児看護学実習 | 6日(日) | |
| 7日(日) | | 7日(水) | | 7日(土) | | 7日(月) | |
| 8日(月) | | 8日(木) | | 8日(日) | | 8日(火) | ★助言者来訪 AM |
| 9日(火) | | 9日(金) | | 9日(月) | | 9日(水) | ★2F演習 ★2F演習 |
| 10日(水) | | 10日(土) | | 10日(火) | ★PM助言者来訪 | 10日(木) | |
| 11日(木) | | 11日(日) | 山の日 | 11日(水) | ★実習指導計画 ★実習指導計画 | 11日(金) | |
| 12日(金) | | 12日(月) | 振替休日 | 12日(木) | 在宅看護論実習 老年看護学実習 | 12日(土) | (※) (※) |
| 13日(土) | | 13日(火) | 休館 | 13日(金) | | 13日(日) | |
| 14日(日) | | 14日(水) | 休館 | 14日(土) | | 14日(月) | 体育の日 体育の日 |
| 15日(月) | 海の日 | 15日(木) | | 15日(日) | | 15日(火) | 2F演習 |
| 16日(火) | | 16日(金) | | 16日(月) | 敬老の日 敬老の日 | 16日(水) | 2F演習 ★合同発表(3F) |
| 17日(水) | | 17日(土) | | 17日(火) | (※) (※) | 17日(木) | ★PM助言者来訪 |
| 18日(木) | | 18日(日) | | 18日(水) | | 18日(金) | |
| 19日(金) | | 19日(月) | | 19日(木) | (※) (※) | 19日(土) | |
| 20日(土) | | 20日(火) | | 20日(金) | (※) (※) | 20日(日) | |
| 21日(日) | | 21日(水) | | 21日(土) | | 21日(月) | |
| 22日(月) | | 22日(木) | | 22日(日) | | 22日(火) | |
| 23日(火) | | 23日(金) | | 23日(月) | 秋分の日 秋分の日 | 23日(水) | |
| 24日(水) | | 24日(土) | (※) (※) | 24日(火) | (※) (※) | 24日(木) | |
| 25日(木) | 開講/ガイダンス | 看護教育課程1 | 25日(日) | 25日(水) | 教育評価 教育評価 | 25日(金) | |
| 26日(金) | | 26日(月) | | 26日(木) | 教育原理 教育原理 | 26日(土) | |
| 27日(土) | | 27日(火) | | 27日(金) | | 27日(日) | |
| 28日(日) | | 28日(水) | | 28日(土) | (※) (※) | 28日(月) | |
| 29日(月) | | 29日(木) | 実習指導の基本 | 29日(日) | | 29日(火) | |
| 30日(火) | | 30日(金) | 母性看護学実習 | 30日(月) | | 30日(水) | |
| 31日(水) | | 31日(土) | | | | 31日(木) | |

気象事情等により、日程変更の場合があります。

助言講師来訪：★印 9/11 PM、10/2、10/9AM、10/16 PM

様式1 記載見本・(Excel版入力方法)

奈良県看護協会ホームページから 実習指導者講習会「様式1 Excel」をdownloadした場合、
 内では、プルダウンで選択できます

その他の項目は、下記の見本のとおりに入力してください。
 手書きする場合は、楷書で正しく、□項目には該当するものに✓を入れてください。

申込 本講習会 240時間
 区別 特定分野 72時間

【被推薦者】 入力見本

| | | | | | | | |
|---|----------|---|-----------------------|---|--|---|----------|
| ふじわらきょう まちこ | | 性別 | 職種 | □保健師 □助産師 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師 | | 4月1日 現在の年齢 ↓ | |
| 藤原京 まち子 | | <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 | 生年月日 | 西暦 1986 年 5 月 12 日生 | | 年齢 | 32 |
| 公益社団法人奈良県看護協会立 ホームナーシングリハビリセンター病院 | | | 部署名 | 3階 リハビリ病棟 | | | |
| 〒 634-0813 奈良県橿原市四条町288-8看護研修センター内 | | | 施設 電話 内線 FAX | 0744-25-4014 (3750) | | | |
| <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 保健師養成所 <input type="checkbox"/> 助産師養成所 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師養成所(3年課程) <input type="checkbox"/> 看護師養成所(2年課程全日・定時) <input type="checkbox"/> 看護師養成所(2年課程通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校・高等学校専攻科5年一貫教育 <input type="checkbox"/> 看護師養成所(統合カリキュラム) | | | | | | 専門資格(有資格は記載) <input type="checkbox"/> 専門看護師 <input checked="" type="checkbox"/> 認定看護師 <input type="checkbox"/> 特定行為研修 分野(認知症看護) | |
| 学校名 | | | 奈良県立奈良病院附属看護専門学校 | | | 卒業年 | 平成18 年卒 |
| 自部署の受入れ実習領域をふまえ、下記の番号と領域を記載。自部署が実習未受入れの場合、自己の臨床経験で選択する 1.基礎看護学 2.成人看護学 3.老年看護学 4.小児看護学 5.母性看護学 6.精神看護学 7.在宅看護論 8.看護の統合 | | | | | | | |
| 演習希望 | 2. 成人看護学 | | 第2希望 | 1. 基礎看護学 | | 第3希望 | 3. 老年看護学 |

【推薦欄】 入力見本 病院勤務の看護職は推薦が必要。特定分野で推薦がない場合は被推薦者が記載

| | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|--|--|--|-----|------------------------|--|
| 施設内推薦順位 | | 勤務施設 | <input checked="" type="checkbox"/> 病院 □介護保健施設 □訪問看護ステーション □助産所 | | | | |
| 4 名中 1 位 | | 勤務領域 (病院のみ記載) | □外科系病棟 □内科系病棟 <input checked="" type="checkbox"/> 回復・療養病棟 □外来・手術室 □上記以外 () | | | | |
| ↑ 推薦順位を記載ください ↓ | | | | | | | |
| 部署(施設)の 看護師養成所 受入れ状況 | 養成所名(受入れ学生数が1番多い看護専門学校名1つ) | | 県内の看護師養成所 | | 2 校 | | |
| | 奈良県立病院機構看護専門学校 | | 准・高校・大学・短大 | | 1 校 | | |
| | | | 県外の学校等 | | 0 校 | | |
| ↓ | 看護師養成所 以外の受入れ | | 大学・短大(専攻科)・高等学校等は、学校名と課程を1つ 県内 奈良文化高等学校衛生看護 専攻科(看) | | | | |
| ↓ | | | | | | | |
| 看護師養成所名(看護専門学校)リスト | | | | 看護師養成所以外の学校名 リスト | | | |
| 南和広域医療企業団南奈良看護専門学校 | | | | 大学院 奈良県立医科大学大学院看護学研究科(看) | | | |
| 奈良県立病院機構看護専門学校 | | | | 大学院 奈良県立医科大学大学院看護学研究科(助) | | | |
| 大和高田市立看護専門学校 | | | | 大学 奈良県立医科大学医学部看護学科(保) | | | |
| 奈良市立看護専門学校 | | | | 大学 奈良県立医科大学医学部看護学科(看) | | | |
| ハートランドしぎさん看護専門学校 | | | | 大学 畿央大学健康科学部看護医療学科(保) | | | |
| 田北看護専門学校 | | | | 大学 畿央大学健康科学部看護医療学科(看) | | | |
| 奈良県医師会看護専門学校 | | | | 大学 天理医療大学医療学部看護学科(看) | | | |
| 奈良県病院協会看護専門学校 | | | | 大学 奈良学園大学保健医療学部看護学科(保) | | | |
| 阪奈中央看護専門学校 看護学科 | | | | 大学 奈良学園大学保健医療学部看護学科(助) | | | |
| 関西学研医療福祉学院 看護学科 | | | | 大学 奈良学園大学保健医療学部看護学科(看) | | | |
| | | | | 大学 畿央大学助産学専攻科(助) | | | |
| 被推薦者 の現職位 | | <input type="checkbox"/> 看護師長 <input type="checkbox"/> 副師長 <input type="checkbox"/> 看護主任 <input checked="" type="checkbox"/> スタッフ | | 短大 白鳳短期大学専攻科助産学専攻(助) | | 短大 白鳳短期大学専攻科地域看護学専攻(保) | |
| 4月1日現在(休職期間は省く)を記載する | | | | 短大 白鳳短期大学総合人間学科(看) | | 短大 奈良文化高等学校衛生看護 専攻科(看) | |
| 看護実務 経験年数 | 7 年 | 実務年のみ 6ヶ月以上で繰上げ | | 短大 奈良文化高等学校衛生看護 専攻科(看) | | 高校 奈良文化高等学校 衛生看護科(准) | |
| 実習指導者 の経験年数 | 0 年 | 8 ヶ月 | | 准看 阪奈中央看護専門学校(准看護科) | | | |
| 被推薦者の 実習指導者 としての職務 | | <input type="checkbox"/> 現年の実習指導者 <input checked="" type="checkbox"/> *1) 所長・師長職・主任職等 <input type="checkbox"/> *2) 受講後、職務に就く予定 | | ※の場合は、学生への指導経験 <input checked="" type="checkbox"/> 業務で指導している(他部署等での指導含) <input type="checkbox"/> 学生への指導経験はない | | | |

様式1 Excel版が正常に動作しない場合は、再度download、Word版downloadまたは手書き作成してください

| | | |
|--------------------------------|----------|---|
| 2019年度(令和元年) 実習指導者講習会【申込書・推薦書】 | 申込 区別 | 本講習会 <input type="checkbox"/> 240時間 特定分野 <input type="checkbox"/> 72時間 |
|--------------------------------|----------|---|

記入上の注意: 被推薦者は上段、推薦者は下段2重線枠内に記載ください。様式1(記載方法・入力見本)を参照してください。
 手書きの時は□項目の該当するものに✓をつけ、空欄や()内は必要事項を全て記載(入力)してください。
 年齢・経験年等、当該年4月1日現在の状況とする。手書きの場合は、楷書で正しく記載してください。



【被推薦者】

| | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|------|-----------------|--|---|-----|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| ふりがな | | 性別 | | 職 種 | <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 看護師 | | | | | |
| 氏 名 | | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 | 生年月日 | 西暦 | 年 | 月 | 日生 | 年齢 | | |
| 施設名 | | 部署名 | | 記載例) 6階南病棟 33病棟 | | | | | | |
| 施設住所 | 〒 | 施設 電話 内線 | () | | | | | | | |
| | | FAX | | | | | | | | |
| 看護専門 最終学歴 | <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 保健師養成所 <input type="checkbox"/> 助産師養成所 <input type="checkbox"/> 看護師養成所(3年課程) <input type="checkbox"/> 看護師養成所(2年課程全日・定時) <input type="checkbox"/> 看護師養成所(2年課程通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校・高等学校専攻科5年一貫教育 <input type="checkbox"/> 看護師養成所(統合カリキュラム) | | | | | | | 専門資格(有資格は記載) | | |
| | | | | | | | | <input type="checkbox"/> 専門看護師 | <input type="checkbox"/> 認定看護師 | <input type="checkbox"/> 特定行為研修 |
| | 学校名 | | | | | | 卒業年 | 年卒 | | |

自部署の受入れ実習領域をふまえ、下記の番号と領域を記載。自部署が実習未受入れの場合、自己の臨床経験で選択する
 1.基礎看護学 2.成人看護学 3.老年看護学 4.小児看護学 5.母性看護学 6.精神看護学 7.在宅看護論 8.看護の統合

| | | | | | | |
|------|------|--|------|--|------|--|
| 演習希望 | 第1希望 | | 第2希望 | | 第3希望 | |
|------|------|--|------|--|------|--|

【推薦欄】 被推薦者(受講申込者)情報・被推薦者所属部署の実習受入れ状況・推薦理由

必要事項を記載または該当の□項目に☑を入れてください。

| | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|--|----------------|---|----|---|--|
| 施設内推薦順位 | 勤務施設 | <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 介護保健施設 <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション <input type="checkbox"/> 助産所 | | | | | | |
| 名 中 | 勤務領域 (病院のみ記載) | <input type="checkbox"/> 外科系病棟 <input type="checkbox"/> 内科系病棟 <input type="checkbox"/> 回復・療養病棟 <input type="checkbox"/> 外来・手術室 <input type="checkbox"/> 上記以外 () | | | | | | |
| 部署(施設)の 看護師養成所 受入れ状況 | 養成所名(受入れ学生数が1番多い看護専門学校名1つ) | | 県内の看護師養成所 | | | 校 | 校 | |
| | | | 准・高校・大学・短大 | | | 校 | 校 | |
| | | | 県外の学校等 | | | | | |
| 看護師養成所 以外の受入れ | 大学・短大(専攻科)・高等学校等は、学校名と課程を1つ記載ください。 県内 他(県外) () | | | | | | | |
| 被推薦者 の現職位 | <input type="checkbox"/> 看護師長 <input type="checkbox"/> 副師長 <input type="checkbox"/> 看護主任 <input type="checkbox"/> スタッフ | 看護実務 経験年数 | 年 | 実習指導者 の経験年数 | 年 | ヶ月 | | |
| 被推薦者の 実習指導者 としての職務 | <input type="checkbox"/> 現任の実習指導者 <input type="checkbox"/> *1) 所長・師長職・主任職等 <input type="checkbox"/> *2) 受講後、職務に就く予定 | | *1)*2)の場合は、学生への指導経験 <input type="checkbox"/> 業務で指導している(他部署等での指導含) <input type="checkbox"/> 学生への指導経験はない | | | | | |

推薦理由 現任の実習指導者は記載不要 * (現任以外) は、推薦理由を記載してください

奈良県看護協会 会長 殿
上記、被推薦者を推薦します。

令和 元 年 月 日

施設名 _____ 推薦者名 _____ 印 _____